令和元年度

松ヶ江中だより

学力特集号

令和元年10月25日
北九州市立松ヶ江中学校

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、3年生を対象として、「教科（国語，数学，英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

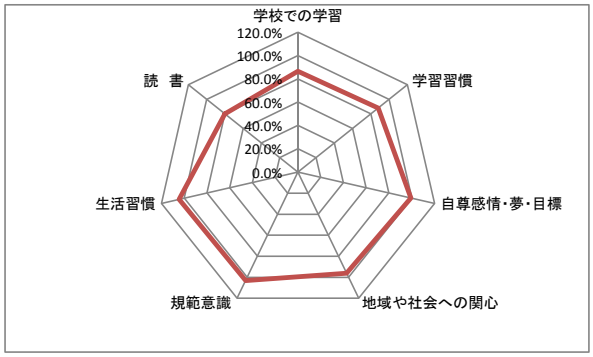
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1．教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語	・論の展開にふさわしい語句を選択する問題や、短歌を読み感じたことを書く問題で正答率が高い。 ・話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつなどの、「話す・聞く」能力をみる問題に課題がみられる。	下回っている
数学	・数と式の問題では全国平均より正答率が高い。特に反比例の表から、xとyの関係を式で表す問題で全国平均を大きく上回っている。 ・資料を整理した表から最頻値を読み取る問題や、問題解決の方法を数学的に説明する問題に課題がみられる。	下回っている
英語	・月日に関する表現を理解して応答する問題や、現在進行形を理解して応答する問題の正答率が高い。 ・聞くこと、書くことの内容の正答率が低い。文法に則った書き換えやまとまりのある文章を聞いて処理する能力を向上させる必要がある。	下回っている

2．学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
・授業の中で「話し合う活動」を通じて、「考えを深めたり、広げたりしている」と回答した生徒の割合は、全国平均よりも低い。 ・家庭学習に1時間以上取り組む生徒の割合は、全国平均より低い。 ・生活習慣と規範意識に関する質問に肯定的に回答した生徒は、全国平均を上回っている。概ね規則正しい生活が送れていることがうかがえる。 ・読書習慣に対する質問に対して、「読書を全くしない」と回答した生徒の割合は全国平均より高い。今後は、読書活動をさらに推進していく必要がある。

3．調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

・「話し合う活動」の意義を生徒に伝えたうえで、考えを深めたり、広げたりする対話的な活動を授業に継続的に取り入れる。
・基礎学力定着を図るため、学習タイムや考査前の質問教室等で個に応じた指導を行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・学校だより、学年通信、学校ホームページ等を通じて、家庭学習・読書の重要性を保護者や地域に周知する。あわせて、規則正しい生活（早寝・早起き・朝食等）が学力や健康に良い影響を与えることを伝えていく。